

とうわ はりみち 「東和の針道棚田」

【所在地】 福^{にほんまつし}島^{はりみちむら}県二本松市（旧針道村）

【面積】 勾配 1/20 以上の田 20.8ha



<東和の針道棚田の概要>

○棚田米やエゴマの生産

二本松市の旧針道村の中央に位置しており、阿武隈山地の麓で豊かな自然と歴史的建造物や文化財が点在する地域で、棚田米や転作によるエゴマを生産している。

○地域住民による環境保持

日本型直接支払交付金（多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金）を活用して、地域住民を中心に、畦畔の除草や水路の掃除等の保全活動を実施している。

○洪水防止・土砂崩壊防止

地域でまとまりをもって、毎年、畦畔の除草や農道の整備、水路補修等を行うことで棚田の維持管理が図られている。また、水田ビオトープを設置しており、集中豪雨等の際に雨水が一時的に貯留されるなど、洪水の発生を防止する役割も果たしている。

○その他

イノシシによる被害の低減を図るため、棚田全域に電気柵を設置することで、棚田の保全や生産活動を通じて地域のまとまりが形成されている。

棚田に設置している水田ビオトープでは、準絶滅危惧種であるクロゲンゴロウやコシマゲンゴロウ、ミズカマキリなど水生生物や昆虫等の貴重な棲み処となっており、里山の生物多様性の維持に貢献している。

また、針道地区には、推定樹齢 150 年の「中島の地蔵桜」や伊達政宗により攻められ落城した「小手森城址」等の観光資源があり、市内外から訪れる観光客を惹きつけている。



【中島の地蔵桜】